

街の元気 ● みんなの元気を応援します

VIVA city

ビバシティ

社団法人 石川県柔道整復師会



撮影 金沢支部 中根 茂会員
使用カメラ: ニコンD300
使用レンズ: ニッコールレンズ
18~70mmED
ISO感度1000
フラッシュ撮影
手動白バランス使用

〔石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会〕
昭和63年にはじまった当会主催の少年柔道大会も、今年で25回を数える伝統ある大会になりました。オリンピックに出場した金丸雄介選手や松本薫選手など、この大会で活躍した多くの選手が日本を代表する柔道家に成長しています。
少年柔道を通じて心身の健全な育成に努めるとともに親睦と友好を深めることを趣旨としたこの大会の開催をとおして、少年柔道の振興とレベルアップに努めています。



社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp



●特集

柔道の精神を活かし、 伝える

〔 柔道整復師倫理綱領 〕

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し、技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

C O N T E N T S

1	特集 柔道 第 25 回(社)石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会 四支部対抗柔道大会兼北信越ブロック柔道大会選手選考会 第 34 回北信越ブロック柔道大会
7	第34回北信越学術大会長野大会
8	喜びの受賞者 石川県知事表彰 ほか
11	ボランティア報告 第 60 回金沢百万石まつりで救護活動を実施
12	Member's Voice 随想 川本 力雄
12	新入会員紹介

柔道

特集

精力善用 自他共栄

柔道の精神を活かし、伝える

柔道整復術のバックボーンには、日本古来の武道、特に柔術の伝統と精神があります。柔道整復師会では会員が「精力善用」「自他共栄」を根本精神とする柔道の素養を積むとともに、広く一般への普及にも努力しています。

第25回 (社)石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会

古豪 鶴来坂田道場復活！ 7度目の優勝

第25回 (社) 石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会が5月13日 (日) 白山市「啓武館」にて開催され、県内各地より24チーム346名の選手が参加しました。観客、役員、審判団など1400名を超える人の熱気で会場は大いに盛り上がりました。



優勝した鶴来坂田道場と個人優勝の皆さん。

堂本義邦総務部長の開会宣言の後、木山時雨会長が挨拶に立ち「この大会からは、ロンドン五輪に出場する松本薫選手など日本を代表する選手がたくさん出ています。みなさんも大先輩を目標に頑張ってください」と述べました。続いて中村直人白山市教育委員会教育部長と田中博人県議会議員より激励の言葉が贈られ、選手を代表して内灘町少年柔道教室の本出達基



木山会長が子どもたちを激励。

選手が元気よく選手宣誓、熱戦がスタートしました。

午前中の団体戦では、鶴来坂田道場と松任柔道スポーツ少年団が勝ち進み決勝へ。接戦の末、鶴来坂田道場が5年ぶり7度目の優勝を果たし、日整全国少年柔道大会出場の切符を手中に収めました。また午後からは各学年男女別個人戦が行われ、各試合会場では激しい檄やスタンドからの熱い声援が飛び交い、熱戦が続きました。



内灘町少年柔道教室の本出選手が元気に選手宣誓。

柔道を通じて心身の健全な育成を目指すこの大会を支えるため、県柔道連盟、中学校の柔道部、審判団、実行委員など総勢130名のスタッフに朝早くから運営にあたっていたことに感謝します。

これからも少年柔道や柔道競技振興のために努力していこうと関係者一同気持ちを新たに、大徳勇副会長の閉会の辞で大会を締めくくりました。



激しい試合に救護班も大活躍。



みごとな内股が炸裂！



足払いが入った！



一瞬のせめぎあい。

優勝おめでとうございます

優勝選手のひとこと

団体の部優勝 鶴来坂田道場

先日の全国少年柔道大会ではベスト4入りを果たせず涙を吞みましたが、今大会では子どもたち皆と優勝を決意して臨みました。これからもさらなる高みを目指し頑張っていきます。(坂田 和也監督)

このような大きな大会で優勝できてよかった。秋の全国大会ではベスト4入りを目指して皆で頑張りたいです。(若狭 智也主将)

男子1年優勝 松井 颯士朗 (中能登)

優勝できて嬉しい！

男子2年優勝 南出 健慎 (鶴来)

昨年と続けて優勝できて嬉しいです。

男子3年優勝 鷺尾 陽 (鶴来)

優勝できてよかった。

男子4年優勝 古谷 渉 (松任)

嬉しい。もっと強くなりたい！

男子5年優勝 生田 勇介 (内灘)

6月の学年別柔道大会県予選でも優勝するぞ。

男子6年優勝 若狭 智也 (坂田)

自分よりも体の大きな選手がいた中で優勝を勝ちとれてよかった。将来は森下選手のようにオリンピックを目指したい！

女子1年優勝 山下 万葉 (鶴来)

勝ててよかった、何かプレゼント買ってもらおうと。また優勝したいな。

女子2年優勝 西出 幸帆 (小松)

また出場したら優勝したい。

女子3年優勝 北野 那美 (中能登)

また勝ちたいな (ウォークマンがご褒美だそうです)。

女子4年優勝 平田 絢子 (坂田)

うれしい！何か買ってもらおうと。

女子5年優勝 河合 葉菜 (小松)

母の日のいいプレゼントになりました。また勝ちたい。

女子6年優勝 瀧田 萌生 (坂田)

嬉しい。とにかく次も勝ちたいです。



総 合 成 績 表

平成24年5月13日 啓武館

団 体 戦		最優秀選手	若 狭 智 也		鶴来坂田道場	
優 勝	鶴来坂田道場	優秀選手	岩見 倅汰		津幡	喜成 健斗
2 位	松任柔道スポーツ少年団		草間 康生		窪田	山崎 朱音
3 位	窪田柔道倶楽部		山本 立		鶴来	重野 泰成
	内灘町少年柔道教室		生田 勇介		内灘	宮下 一心
個人戦男子小学1年生		所属チーム	個人戦男子小学2年生		所属チーム	個人戦男子小学3年生
優 勝	松井颯士朗	中能登	優 勝	南出 健慎	鶴来	優 勝 鷺見 陽
2 位	広瀬 大和	津幡	2 位	藤村 颯大	岩井	2 位 安田 琢磨
3 位	村上 亜塔	岩井	3 位	森田 陽彦	邑知	3 位 尾嶋 大和
	藤岡 響基	邑知		堀川 航	中能登	
個人戦男子小学4年生		所属チーム	個人戦男子小学5年生		所属チーム	個人戦男子小学6年生
優 勝	古谷 渉	松任	優 勝	生田 勇介	内灘	優 勝 若狭 智也
2 位	淵田 基矢	坂田	2 位	寺島 悠太	坂田	2 位 北浦 亘征
3 位	堀川 汐	中能登	3 位	岩見 倅汰	津幡	3 位 喜成 健斗
	辻 晟悟	加賀		川崎 弘斗	北陸綜警	
個人戦女子小学1年生		所属チーム	個人戦女子小学2年生		所属チーム	個人戦女子小学3年生
優 勝	山下 万葉	鶴来	優 勝	西出 幸帆	小松	優 勝 北野 那美
2 位	近岡エヴァ	北陸綜警	2 位	松下ひかる	小松	2 位 岩見 紗那
3 位	新木 美紅	緑	3 位	黒澤 友翔	松任	3 位 坂 衣織
	岩本 杏奈	七尾		徳山 雪乃	小松	
個人戦女子小学4年生		所属チーム	個人戦女子小学5年生		所属チーム	個人戦女子小学6年生
優 勝	平田 絢子	坂田	優 勝	河合 葉菜	小松	優 勝 淵田 萌生
2 位	宮本 春菜	松任	2 位	山崎 笑佳	能美	2 位 松井那菜子
3 位	小林 愛弓	坂田	3 位	北野 佑美	中能登	3 位 出口 佐和
	坂田 彩里	坂田		山崎 朱音	松任	

ご存じですか？
健康やわら体操

柔道整復師は健康やわら体操の普及活動を行っています

ケーブルテレビの
情報番組でも紹介。



動作は全部で10種類ある。

健康やわら体操とは、柔道の基本動作を応用した体操で、老若男女、誰でも簡単に行える体操です。ゆっくりとした動作で、お年寄りや日頃運動不足の方にも無理なく行え、自律神経の働きに良い影響を与える、姿勢を支える全身の筋力の維持・強化につながる、ストレッチ、疲労回復などの効果もあります。

出張指導も行っていますので、石川県柔道整復師会へお気軽にご相談ください。

柔道

特集

四支部対抗柔道大会兼北信越ブロック柔道大会選手選考会

金沢南支部が優勝を奪還！

平成24年4月8日（日）、白山市「啓武館」で四支部対抗柔道大会が開催されました。この大会は北信越ブロック柔道大会選手選考会を兼ねて開催されたもので、例年、各支部の意地と代表選手の座をかけた熱戦が繰り広げられています。

第1試合は金沢南支部対加賀・能登支部合同。昨年の北信越ブロック大会、全国大会に出場した3人の選手を擁する金沢南支部が圧倒的な強さを見せるなか、4－0で迎えた大将戦で能登支部の百谷選手の背負い投げが決まり、能登・加賀支部の意地を見せました。

続く第2試合は、金沢北支部が連続試合で疲れの見える加賀・能登支部合同を5－0で下し決勝戦へ。

決勝は金沢北支部と金沢南支部で争われました。強豪揃う金沢南支部ですが、第一試合で負傷した大将を欠く戦いとなりました。勝負の鍵と目された先鋒戦では、金沢北の新戦力 福岡選手を昨年全国大会に出場した畠山選手が退けて金沢南がリード、金沢北の副将 小倉選手が見事な一本で会場をわかせたものの一歩及ばず、金沢南支部に軍配が上がりました。



「優勝おめでとう!!」。副賞の米10キロに顔がほころぶ田中選手。

● 北信越ブロック代表選手 ●

監督	先鋒20代	次鋒30代
西川 典孝	畠山 太輔	田中 寿人
中堅30代	副将40代	大将50代
城寶 忠信	小倉 弘行	嶽 与志蔵



各支部の名誉をかけて戦う選手たち。技が炸裂！

厳しい目で試合を見つめる北支部監督。

なお大会の結果を受けて、6月に長野で行われる北信越ブロック柔道大会の選手が選考されました。応援をよろしくお願いいたします！

優 勝
金沢南支部
準優勝
金沢北支部
3 位
加賀・能登支部
合同

● 出場選手の皆さん ●

	金沢南支部	金沢北支部	加賀・能登支部合同
先 鋒20代	畠山 太輔 (会長奨励賞)	福岡 亮	百井 和浩 (精力善用自他共栄賞)
次 鋒30代	田中 寿人	山田 祐輔	吉田 宣正
中 堅30代	城寶 忠信 (一本賞)	松永 日和 (精力善用自他共栄賞)	片倉 英介
副 将40代	北浦 健司	小倉 弘行 (一本賞)	西 敏男 (精力善用自他共栄賞)
大 将50代	木山 隆久 (精力善用自他共栄賞)	嶽 与志蔵	百谷 実 (一本賞)

柔道

特集

第34回北信越ブロック柔道大会

「無敵戦隊」石川県チーム 6連覇達成!!

平成24年6月16日(土) 長野市運動公園総合体育館柔道場にて第34回北信越ブロック柔道大会が開催され、選ばれた強者たちが熱戦を展開。石川県チームは熾烈な激戦を制し6連覇という偉業をなしとげました。

5月から幾度もの強化練習を重ねてきた石川県は初戦の富山県を3-0で下し、続く2回戦では福井県を3-1で圧倒、決勝戦へ駒を進めました。決勝戦は6年連続で長野県との対決。打倒石川に闘志を燃やす長野県に①-1で内容勝ちし「無敵戦隊」石川県チームが優勝をおさめました。また、最優秀選手に小倉弘行選手、優秀選手に城寶忠信選手が選ばれました。

当日は石川県から応援に駆け付けた会員の数がどの県よりも多く、奮戦する選手達に大声援が送られました。



熱い声援が応援席から飛び。



気迫みなぎる試合が繰り広げられた。

北信越ブロック会長として当会の木山会長が開会式で挨拶。

なお、10月10日に講道館で開催される日整全国柔道大会に出場する北信越西部代表チームの選手として、石川県からも田中寿人選手、城寶忠信選手、小倉弘行選手が選出されました。ご健闘をお祈りいたします。



応援に駆け付けた会員の熱い声援に見事応えた石川県チームの皆さん。

【成績】

西部予選リーグ

石川3-0富山

石川3-1福井

決勝戦

石川①-1長野



先鋒
畠山 太輔選手
(五段)

次鋒
田中 寿人選手
(五段)

石川県
代表選手の
皆さん

副将
小倉 弘行選手
(五段)

中堅
城寶 忠信選手
(五段)

大将
嶽 与志蔵選手
(五段)

6連覇の瞬間。

プレッシャーに打ち勝って優勝！ 応援ありがとうございました。



戦況を見つめる
西川監督。

本会会員の皆さん、また当日遠路長野まで応援に駆け付けてくださった皆さんのおかげで優勝することができました。誠にありがとうございます。優勝候補と言われ、また、二ツ谷監督からチームを引き継いで6連覇を託されたというプレッシャーの中で選手がひとつになり、優勝に向かって2か月近く強化練習に励んできました。その成果を優勝という結果で出すことができほっとしております。決勝を戦った長野県チームは地元開催ということもあり、「打倒石川」を合言葉に異例の事前合宿まで行ったそうです。



選手各位には、日々の施術後に稽古に励んでいただくなど本当にお疲れさまでした。また、木山時雨会長の旭日双光章受章に6連覇という偉業で華を添えることができ、大変うれしく思っています。今後は、10月に行われる日整全国柔道大会に向けて強化に努め、さらに精進を重ねて良い成績が残せるよう頑張りたいと思います。

石川県チーム監督 西川 典孝

第34回(公社)日本柔道整復師会北信越学術大会 藤田紘一郎先生が講演

第34回(公社)日本柔道整復師会北信越学術大会長野大会が平成24年6月17日(日)に郵便貯金会館メルパルク長野で開催され、県民公開講座・協賛研究発表・会員研究発表が行われました。



講師は東京医科歯科大学名誉教授の藤田紘一郎先生。

学会前日の開会式は、学会会長を務める日本柔道整復師会・萩原正会長の挨拶と(社)長野県柔道整復師会・内山富之会長の歓迎の辞で始まりまし

た。続いて懇親会が行われ、学会成功を期して大いに盛り上がり、各県からの参加者が親交を交わしました。

学会当日の参加者は426名。満席の会場で県民公開講座・協賛発表・北信越各県代表による研究発表が行われました。



県民公開講座では、「世界の水・長寿の水—知られざる水の効能〜からだによい水の飲み方」と題して東京医科歯科大学名誉教授の藤田紘一郎先生が講演。藤田先生の研究を中心にユーモアを交えながら熱心にお話いただきました。会場から感嘆の声がもれるほどの内容と知識を披露していただき、今後の我々の知恵となる講演でした。



午後からは昼食を取りながらのランチョンセミナーがあり、日本柔道整復師会・介護対策課より三谷誉先生(写真右)と春原博先生の講義が行われました。

午後からは昼食を取りながらのランチョンセミナーがあり、日本柔道整復師会・介護対策課より三谷誉先生(写真右)と春原博先生の講義が行われました。



中田健市学術部長が座長を務めた。

協賛発表



「上腕骨外側上顆炎の治療」

北信越柔整専門学校講師
山田 駿先生

診療ガイドラインに基づいた診療方法の検証をエビデンススケールからみた評価と検討、治療法について発表。

会員研究発表



「ソフトボール・野球における急性スポーツ外傷を経験して」

堀松 郁子会員

超音波観察装置を活用して、適切な経過観察とインフォームドコンセントの必要性を発表。

※詳細については学会誌抄録をご参照ください

喜びの受賞者

長年、施術を通して地域医療に貢献してきた4名の会員へ、谷本正憲石川県知事より表彰状が授与されました。

石川県知事表彰

地域奉仕を胸に研鑽の日々を

金沢南支部 東 勝一



第37回定時総会の席上、平成24年度医療功労者として谷本正憲知事より表彰されたことは身に余る光栄と存じ、厚く御礼申し上げる次第です。振り返れば、入会からあつという間に30余年の月日が過ぎ去っております。右も左もわからぬ当方に対する先輩諸氏の心血を注いだご指導ご助言により今の我が身があることを思うと感涙の至りです。

入会翌日、アメリカスペースシャトルの軌道運行成功の報道に接し、宇宙時代の到来を実感した記憶が鮮明に残っております。

入会当初から日々の研鑽こそが命題と考え、各種学会や研修会に積極的に参加させていただきました。同時に、冬期休日には日本赤十字石川県支部による雪上救急パトロール隊員として、白山麓のスキー場でケガ人救助やパトロールに汗を流したことを懐かしく思い出します。平成9年のロシア船ナホトカ号重油流出事故、平成19年の能登半島地震、そして昨年の東日本大震災と大きな事故、災害時のボランティアにも加わらせていただき、「助ける」ことの意味、重要性を思い知らされました。小松鉄人レースをはじめ、石川県全域でのスポーツイベント

でのケア活動に参加し、また安心・安全の地域づくりのため地元白山市の防災訓練にも協力させていただきました。

本来の柔道整復業務を誠実に積み上げ、その中で生まれた知識、技能、経験を地域の方々に御返しできるように、日々の臨床においても地域協力の芽を日一日と大きく育てることを心がけます。そのため常に現場を見据え、超高齢化社会に対応できる方途を模索しながら、未来を育てるスポーツイベントへの参画、そして地域に根ざした人を大切にする医療人としての研鑽を怠ることなく、新たな地平を切り拓くべく会員諸氏とともに未来に向けて精進したく存じます。

誠にありがとうございました。

受賞者4人を代表して谷本知事に謝辞を述べる東会員。



石川県知事表彰

感謝、そしてありがとう

金沢南支部 池田 秀夫



この度、第37回定時総会において名誉ある医療功労者知事表彰を谷本正憲知事より賜り、光栄の極みであります。このような賞をいただけたのも、ひとえに木山会長はじめ役員の方先生方にご推挙いただいたお陰と心より感謝申し上げます。また、諸先輩や会員の皆様のご指導ご鞭撻の賜物と感謝しております。

私は富山から出て来て北信越柔整専門学校を卒業し、医療勤務10年、石川県柔道整復師会に入会させていただき30年、あっという間のことの

ように思います。ここまで来ることができたのも地域の皆様のご支援、多くの方々のお陰と感謝しております。

これからも初心を忘れず、微力ではありますが地域医療のためにお役に立ちたいと願っております。どうぞこれからも変わらず、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、ここまで支えてくれた女房に感謝、ありがとう。

石川県知事表彰

受賞を機に一步前へ

加賀支部 宇野 幸治



この度、第37回定時総会において谷本正憲石川県知事より医療功労者知事表彰を賜り、誠にありがとうございました。大変名誉なことと感謝しております。このようなすばらしい賞をいただけたのも、ひとえに木山会長はじめ諸先輩方、会員の皆様のお陰と心より御礼申し上げますとともに、現在の役員・委員の方々の努力と英知には頭が下がる思いです。

今回、受賞の通知をいただいたときは多少の戸惑いがありました。過去に何回か委員をさせていただきましたが、その時は自分の力不足を痛感し、会の舵取りに大変なご苦勞をされている方々を差し置いて、私が知事賞をいただいて良い

ものかという思いが頭をよぎりました。

振り返りますと、この道に入った40年前は骨折、脱臼の整復・施療も多く行われており、師匠からは助手がいなくてもできる整復法も学びました。今は環境が変わり施術の内容も患者層もすっかり変わってしまい、変化のスピードの速さに自分を見失いそうになることや将来への不安を感じることもありました。そのような時に医療功労者知事賞をいただき、「患者さんのために」という思いを支えにしてもう少し前を見て頑張っていこうという気持ちにさせていただきました。皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

石川県知事表彰

30年前の真っ白な気持ちで 学び続けます

能登支部 堂本 義邦



第37回定時総会の席上において、医療功労者県知事表彰を谷本正憲石川県知事より賜り誠にありがとうございました。

これも木山会長はじめ役員理事、諸先輩、会員皆様のご指導ご支援の賜物と心より厚くお礼申し上げます。

本会に入会し柔道整復師として開業以来、先輩の先生方の教えを乞いながら、はるか先に行く先生方の背中を目指して夢中で励んでまいりました。また日々の患者さんとの会話やふれあいの中からも、子どもたちに教えられ、お年寄りから諭され、人生を学ばせていただき、気がつけば30年

という歳月が流れていました。

ヒトの体は摩訶不思議で神秘的で美しい、そしてヒトの心も危うく複雑で美しい。自然の力の前で自分の小ささを自覚しながら「人から学び、人に伝えてゆく」をモットーに先入観にとらわれず、またおごることなく、30年前の真っ白な気持ちで地域医療に貢献していきたい。そして、本会の充実のために微力ながらお役に立てるよう努力していく所存です。

今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

木山時雨会長 旭日双光章の栄に輝く

永年にわたり柔道整復師として地域医療に貢献するとともに、(社)石川県柔道整復師会で昭和60年より理事・事業部長・総務部長・金沢北支部長を5期10年間、平成7年より副会長を3期6年間務める。平成13年4月第10代会長に就任後は、能登半島地震、東日本大震災被災地でのボランティア活動やサポート接骨石川(SSI)活動などの公益事業を推進し、本会の公益法人化にも取り組んでいます。このことにより保健衛生功労として認められ、平成24年度春の叙勲において旭日双光章の栄に浴しました。



木山 時雨

石川県柔道整復師会会長として、現在7期目。北信越ブロック会会長、(公社)日本柔道整復師会理事・学術部長。
講道館柔道8段 75歳

ボランティア報告

第60回金沢百万石まつりで 救護活動を実施

平成24年6月2日(土)、石川県柔道整復師会
日本赤十字奉仕団として金沢北支部会員14名が
「百万石まつり」救護活動ボランティアに参加し
ました。

参加会員は3か所ある集合場所へ正午に集まり、
星稜大学の学生や他のボランティアの人たち
とグループを組んで救護と巡回に別れて活動を
開始、百万石行列、踊り流しと続くイベントが終
了する午後9時を廻るまで活動は続きました。



グループ毎に、まずは
綿密な打ち合わせ。

巡回班が出発。



赤十字のジャケットを着て活動開始。

昨年から参加しているこのボランピア活動は、
日本赤十字社石川県支部が中心となって行っ
ているもので、本会だけの活動とは違い他の団体と
の交流がまた一段と深まりとても有意義な一日で
した。

【ボランティア活動参加者】

板橋 透・大徳 勇・大平和幸・金田豊茂・嶽与志蔵
小松英夫・坂田浩之・真酒谷清・竹野敬治・中根 茂
長永孝仁・二ツ谷剛彦・森田 淳・山上隆之
(以上14名、順不同)

百万石まつりに備えて

日赤「救護ボランティア基礎研修」に参加

5月20日(日)日本赤十字社石川支部が主催するボラン
ティア基礎研修が金沢赤十字病院で行われました。

今回の研修は6月に行われる百万石まつり救護活動ボラン
ティア参加者の事前研修として行われたもので、学生や社会
人約90名が受講。本会からも北支部会員を中心に13名が参
加し、赤十字の基礎知識、無線機の使い方、救急法などの説
明を受けました。

無線機の使い方では小グループにわかれて、災害状況を伝
達するゲームを行いました。慣れない無線機に四苦八苦しな
がら、複数の組織と一緒に活動する現場では情報を的確に伝
達することが大切であり、いかに難しいかを実感しました。

トランシーバーを使っ
て情報を伝達するゲー
ムを行った。

百万石まつりで活動
するさまざまな団体
から約90人が参加。



Member's Voice

ビバ・シティ 2012.July
Member's Voice

随想 病床にて…

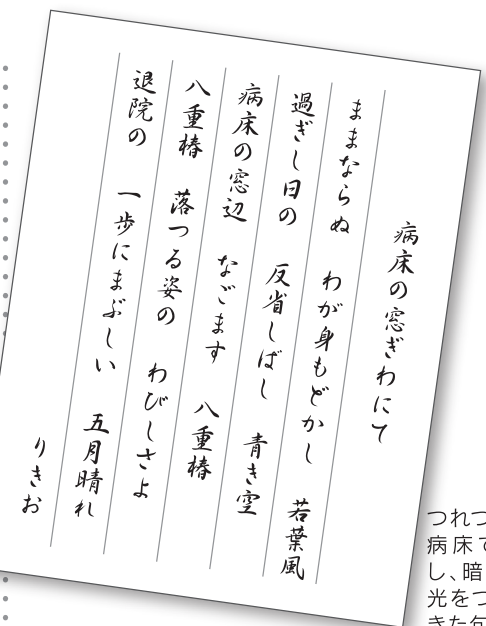
つれづれなるままに

金沢南支部 川本 力雄

4月下旬、突然の病にて16日間を病床で過
ごした。救急病棟の病室の窓の外は一面の
八重樺。ベッドから眺めると視界いっぱい
に真っ赤な花が咲き誇っていたが、一つずつそ
の花を落とし、葉の緑が濃くまぶしくなっ
ていく。ままならぬ手足に「このまま…」とい
う不安を抱えながらも、自分を振り返る修養と
も言える時を持つこととなった。

手術中に突然足払いをくらったように倒れてし
まった4月27日。病名は脳梗塞(虚血性脳卒中・
アテローム血栓性脳梗塞)。すぐに懇意にしてい
る脳神経外科の専門医に診ていただけたという
運もあって、大きな後遺症もなくどうやら仕事に
復帰できた。脳卒中は日本人の三大死因の一つ
で、しかもこの脳梗塞は最も死亡率が高い。

健康には気を使ってきたつもりだったが、この
ところ水分摂取もままならないほど忙しくストレス
を抱えていたことは確かだった。加えて、自分に
対しても人に対しても「そのくらいでいいよ、充分



つれづれなるままに
病床で思いを巡ら
し、暗闇から抜けて
光をつかむことがで
きた句。

だ」と言えずにとことんまで突っ走る性分。今にし
て思えば、そんな私に身体の方が悲鳴をあげてい
たのだろう。大いに反省!

復帰後は「いいかげん」ということを心がけるよ
うになった。自分の適量、頃合いを知って、足した
り引いたり「加減」をしながら「これくらいで良い
だろう」というところで自分を許すようにしている。
はからずも自分を振り返ることになった“貴重”な
時を、これからの人生に生かさないわけにはいか
ないと、心と対話している今日この頃である。

※機会があれば、生業が一瞬にして失われるかもしれ
ない脳梗塞について詳しく述べてみたい。

新入会員紹介

よろしくお願いします!



加賀支部

平成24年4月19日入会

西田 雅樹

(にした まさき)

生年月日 昭和37年4月11日
出身校 明治東洋医学院
住 所 小松市土居原町
207-1
接骨院名 西田接骨院
電 話 0761-22-0601
趣味・特技 テニス



金沢北支部

平成24年5月30日入会

山川 拓二

(やまかわ たくじ)

生年月日 昭和42年4月27日
出身校 北信越柔整専門学校
住 所 金沢市里見町29番地4
里見町ビル1階
接骨院名 接骨院らくう
電 話 076-222-5557
趣味・特技 料理、スポーツ全般

◆20年近く前、初めて「会旗争奪少年柔道大会」の係をした時、ご高齢の役員の先生方が「この子ども達の中からオリンピック選手が育ってくれば」と話されるのを聞き、「無理しょ。」と思ったのは私です。先生方、私が間違っておりました！ 金丸選手に続き、松本薫選手がオリンピックに出場と、石川の子ども達も「少年柔道大会」も見事に育ちました。
(中野 記)

◆先日、北信越ブロック長野大会に行ってきました。柔道大会では石川県が見事6連覇を達成しました。長野との決勝は0-1と重苦しい展開で進みましたが、副将戦で見事1本取り返し、大将戦を引き分けての内容勝ちの優勝でした。選手及び関係者の皆さん本当にご苦労様でした。久しぶりに感動しました。
(小松 記)

◆病気は突然やってきます。私も含めて多くの皆さんがストレスのかかる毎日を過ごされていることと思います。川本会員のメンバーズボイス「病床にて…」を何度も読み返しました。あの句は身にしみました。健康が一番なによりです。
(中根 記)

◆虹は何色でできている？ほとんどの日本人は7色と答えますが、なんとお国によって違うらしい。ロシアでは4色、メキシコでは5色、イギリスでは6色と言われているとか。認知科学にはその根幹に「クオリア」＝(感覚)問題というものがあります。昨今の消費税問題、原発問題のニュースを聞くにつれ、為政者側と一般国民とのクオリア問題を強く感じます。
(橋本 記)

◆この季節になると、私の地元鶴来ではペンライト片手に少年たちが夜のコンビニに集まります。お目当てはクワガタ虫。澄んだ瞳で一心不乱に虫を追うその姿は、ホモサピエンス・ヒト科・オスの本能なのかもしれません。きっと彼らは、その黒く輝く小さな命に、生きてゆく力強さと憧れを感じているのでしょう。
(太田 記)

◆県民公開講座の講師・藤田紘一郎先生の講演を聞くのは今回で二度目。硬水・軟水・アルカリイオン水と体に良い水の飲み方について、大変面白く興味深い内容でした。一度目に聞いた体に良い寄生虫のお話もすごく面白かったです。藤田先生の著書は多数ありますので、興味のある方は本屋さんへどうぞ、(^O^)
(木藤 記)

◆今年は鰻の価格が高騰しているとのこと、なかなか口に入らない。土用の丑の日に鰻を食べるのは「丑の日にゝうゝ」の字がつく物を食べると夏負けしない」という民間伝承からヒントを得て始まったらしい。ということは、ゝうゝのつく梅干しや瓜などで夏バテ予防ができればいいのだが…。
(唐木 記)

◆新聞紙面を連日のように飾る事件・事故・政治の混乱等々…終いには、はて？ 今年の梅雨はいつもと違うゾ、何か大変なことが起きる予兆なのではと、何かと疑心暗鬼になる昨今です。インターネットとメディアの普及で様々な情報がすぐ手に入る現在、私ごときでは平常心を保つことができる情報量の限界を超えつつあるのかもしれません。
(五十嵐 記)

ピバ・シティ 第2号 (平成24年7月20日発行)

■発行所／社団法人石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

■発行者／木山 時雨

■編集者／佐藤 裕之・錦川 孝彦・中野 秀人・小松 英夫・中根 茂
橋本 大衛・太田 信幸・木藤 正幸・唐木 均・五十嵐 久智